



マリアン

第24号
発行
ノートルダム女子大学
同窓会
平成6年4月20日発行
マリアン
京・左京区岩倉幡枝町628
電話 (075) 701-9149

新しい時代へ



会長 磯野高子
(2E川田)

爽やかな季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

すでに御承知の通り、母校では昨年四月、水越先生を学長にお迎えし、新しい時代に入りました。同窓会も、はや30期生を迎えることとなり、母娘そろって同窓生、という方もすでに誕生しております。水越学長は、ここまで成長した同窓会に大きな期待をお持ちでございます。また、学校法人の規定の一部変更にもない、当同窓会もND小、女学院の同窓会代表(各校二名)とともに評議委員会に加わらせていただけることになりました。

昨年末に第一回会合があり、一期生の中島克子さんと私が出席させていただきました。重い責任に身のひきしまる思いでございます。

同窓会館マリアンハウスは多少不便な場所にあります。その分静かで、ゆったりとした時間を持つことが出来ます。本部役員会やその他の委員会、クラス、ボランティア活動等によく活用されております。秋にはバザーも開きました。今総会後皆さまの宿泊も可能になりますので、是非ご利用下さい。(六ページ参照)

従来、第一面は学長様にお書きいただくページでございましたが、そろそろ『マリアン』も新しい時代に入つてよい頃ではないか、という気運が高まってまいりまして、この時期に会長役を務める者として書かせていただきました。また、『マリアン』が今まで以上に皆さまと同窓会ならびに母校をつなぐものとなりますようにと、新しい企画も用意いたしました。限から限までお楽しみいただきたく存じます。

私個人といたしましては二度目の会長役でございますが、役員ともども、どうぞよろしくお力添えをお願い申し上げます。

総会へのご案内

日時 五月二十二日(日) 十一時三十分～三時

(受付十一時より)

場所 宝ヶ池プリンスホテル側七二一～二二二

会費 大人 七、〇〇〇円

子供 一、〇〇〇円(ベビシッター有)

今年は十三期の担当です。

ハープとフルートの素敵な演奏と美味な中華料理で美しい京都の春を満喫しましょう。学長先生や懐かしいシスター、先生方のちよつといいお話をクイズにしました。皆様、きつとお楽しみ頂けると存じます。

楽しい同窓会総会を企画しておりますので、是非皆様御参加下さい。心よりお待ちしております。

十三期生一同

♡ 祝 御入会

本年度は、英語英文学科二二五名、生活文化学科九七名が三月十日に御卒業になり、同時に第三十期の同窓会員とされました。

御入会を心より歓迎いたします。これで同窓会員数は七〇〇四名となりました。

本年度二十期の学年委員は次の方にお願ひします。

英語英文学科 水原有美

西田直子

生活文化学科 阪原万理

内田真理

変わりゆくノートルダム

女子大学の現状



名誉顧問
学長

水越 治

ノートルダム女子大学同窓の皆様方が益々ご繁栄の模様でご同慶至極に存じます。小生、本学に参りましてから、一年近くなりました。

同窓会の皆さんとは、総会や、関東地区、中部地区などの会合でお目にかかり、また磯野会長さんや役員の方々は頻回にお会いしておりますが、「マリアン」紙上にてご挨拶するのは初めてです。皆さん方がそれぞれ社会で立派に活躍しておられることに改めて敬意を表する次第です。この「マリアン」は四月ごろ送付されているようですが、この原稿は二月中旬で書いておりますので、二月以後のことは、改めてお知らせすることになるのでしょうか。

日本の大学は、現在様々な難しい問題を抱えております。それにとってもなつてどの大学でも相当な

対応努力を続けてきたわけですが、本学も少なからずの課題を現実に抱えているようで、神の思召により学長に召されたとはいえ、いささか重荷を感じなくもありません。十八歳人口の減少に伴う大学冬の時代において、同窓の皆さん方の努力によって築かれたノートルダム女子大学がどのようにに脱皮し、生き延び、そして将来に向けて繁栄を求めてゆくのかは、私に与えられた厳しい務めと考えています。

私は本学が抱える課題について能率良く、迅速に、そしてスマートに処理することをモットーにこの一年間を過ごして参りました。教職員の皆さんのご協力の下で、学内の仕組みについても、誰が何処で何をしているのかわかり易くなりましたし、今年の四月からひと味変わったスタイルで教育が始まります。

大学入学人口が減少しつつあるため、本学でも入学志願者が漸減し、質が低下する傾向があったようですが、幸いなことに新たな試みやPRが功を奏したのか、他大学の一般入学試験の志願者数が一割か二割ぐらゐが減少するとき、本学では、今年は推薦入試も一般入試も異例の沢山の志願者がありました。定員一四〇人の一般入試では、二〇六人の志願があり、昨年に比して八割増でした。本学史上初めて千人台を越え、試験場などの準備が大変でした。合格発表も通常かなりの辞退者があるため、多い目に発表するのが常識ですが、今年は辞退が少なく、異例の数を受け入れざるを得ないことになり、入学式が本学の四階ホールで間に合わず、京都会館の第二ホールを使用するこ

とになります。

私が着任時に体育館をつくる計画が出来ておりました。時代にアピール出来るように「ユニゾン (unison, 調和) 会館」と名づけました。延べ床面積は約七、〇〇〇平方メートルの大型施設で、昨年六月に起工され、今年七月末に完成します。大ホールは体育関係だけでなく、文化的な行事にも使用するため、大天井は木造のアーチ状になり、四月初旬には床に組み立てられた天井が持ち上げられて定位置に固定されます。ステージにはパイプオルガンも設置されますし、鐘楼にはオランダに発注中の釣鐘が二基つき、それにはマザーテレシアの言葉の“WHERE THERE IS PEACE, THERE IS GOD; WHERE GOD, THERE IS EVERY GOOD.”が刻まれます。秋以後洛北の地に朝夕鐘の音が流れることでしょう。このユニゾン会館は、社会人に解放する社会学習センターの施設も含まれ、また健康増進のためのアスレチック設備も開設されます。男性よりはるかに長寿の女性のための健康管理システムも動き始めるはずで、前庭となる庭園には東西文化の調和を願って茶室を建てることになりました。すべてを含めて九月末には整います。大学のキャンパスはすっかり変わることでしよう。すでに昨年には立派なコンピュータ実習設備やマルチLL—AV (視聴覚) センターも出来上がっていますので、今年の秋には全国の同窓の方々が、新しい大学をご覧頂くために京都へお越し頂きたいものです。

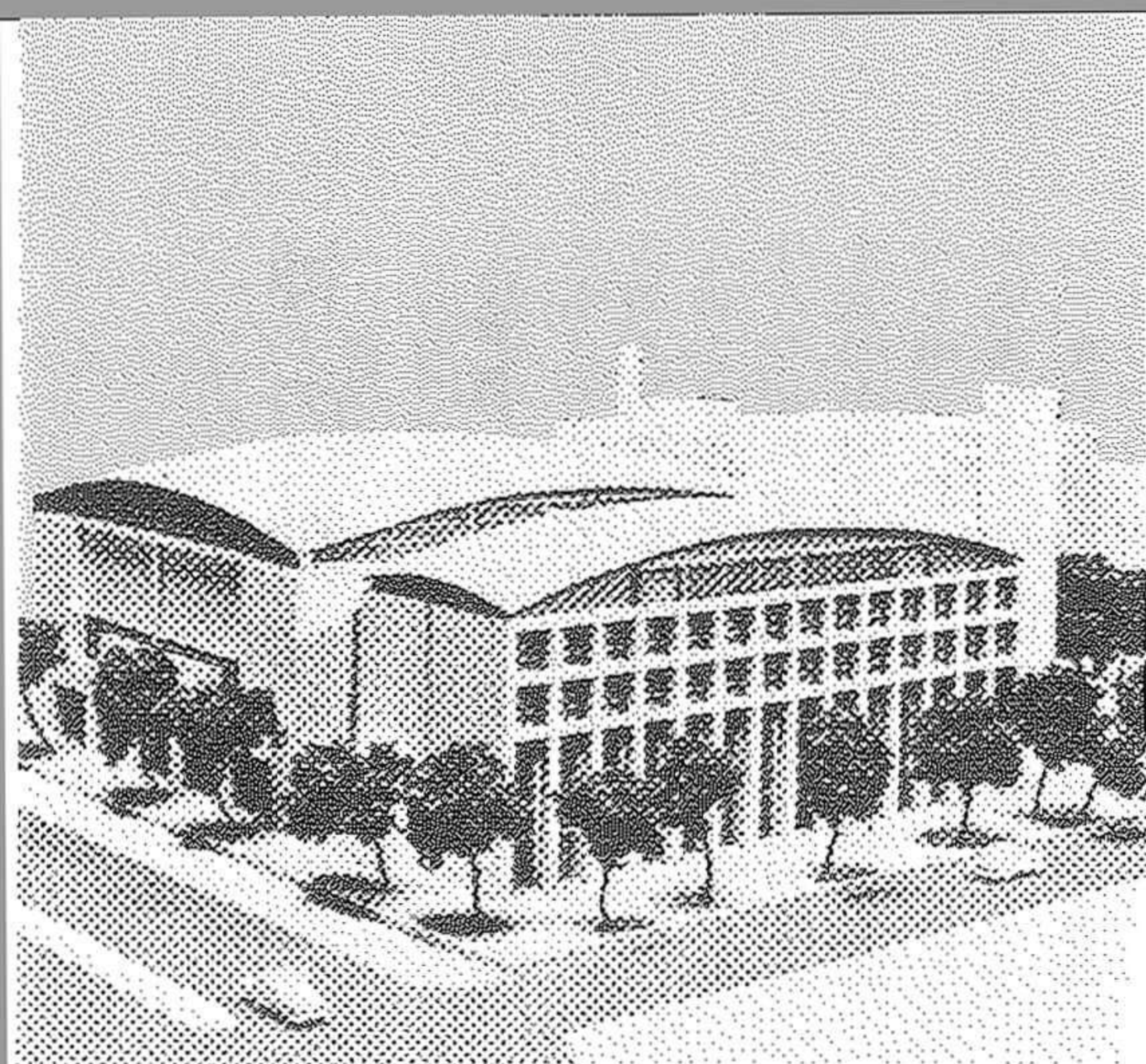
「徳」と「知」の調和の館

ユニソン会館 今夏完成!

一階は実習室、トレーニングルームとシャワールーム。二階は移動式の客席を備えたアリーナとステージで、三階から五階までは木組みのダイナミックな吹き抜けとなり、その吹き抜けを囲うように会議室・研究室・音楽室・合宿室・多目的室・事務室などの施設が配されます。

同窓生のための同窓会室もご準備下さっています。

多目的機能を備えた複合施設、ユニソン会館は地域の人たちにも開放される予定です。私も、同窓生も多目的に利用させていただける日が楽しみです。



ユニソン会館の完成予想図

ノートルダム女子大学に学んで

総クラブ長 鈴木 美保

さて、この度は、我がノートルダム女子大学の近況、及びクラブ活動についての報告をと、このように筆を取る機会をいただき、誠に光栄に感じます。次第でございます。

同窓生の方々にとりまして、古巣であるノートルダム女子大学の近況は大変気になるところと存じます。まず、「ダム女」の学生とえば、あの茶色の制服をイメージなさる方も多いと思います。その制服が九十三年度から全面廃止になりました。私が入学しました九十一年度から、公式行事のみの着用となり、普段は、私服での活動が認められることになりました。制服に関しましては、賛否両論でしたが、やはり、通学に不便という意見が多数で、このような運びとなったわけです。

また、この数年変わったことと言えば、学生食堂の北側に、新しく二階建ての建物ができました。一階には、学生たちの憩いの場として、アメリカの家庭料理を中心としたランチなど多彩なメニューでリッチなひとときを味わえるフレンチシブハウスや、歓談や読書などに最適なブルーラウンジがあります。また、二階には三十二台のパソコンを設置したコンピューターセンターがあり、学生たちの学習に効果的な施設となっています。そして九十三年度には、学生たちの自由時間や好奇心を満たす施設として大人気のAVセンターが全面改装されました。オープンで、より身近に生まれ変わったAVセンターに学生たちは大喜びで、利用する学生数もうんと増した模様です。「ユニ

ソン会館」も出来、創立以来、年々活発になっていくクラブ活動も今まで以上に盛んになるでしょう。

又、最近では学外でのサークル活動を好む学生も増加していますが、このように恵まれた環境において密度の濃い活動が続けられると期待しています。

現在は、硬式庭球部、バレーボール部、バスケットボール部、スキー部、ワンダーフォーゲル部、民族舞踊部、ラクロス同好会、チアリーダーサークル、ESS、写真部、美術部、書道部、茶道部、郷土研究部、合唱団、箏曲部、マンドリン部、ユースホステル部、フランス語サークル、文芸サークル、華道サークル、社交ダンス同好会など二十二の団体があり、個性豊かな、楽しい活動をするともに、学外の学生たちとの交流も盛んに行っています。私自身も、ESSに三年間、所属しておりましたが、おそらく卒業してから大學生生活を振り返った時に一番の思い出だろうと思います。

大学生として与えられた四年間は、若さとパワーをも兼ね備えた、人生で最も自由で、有意義な時間だと考えます。その四年間を、どのように過ごすかは、各々の自由ですが、学習の延長ではなく、これから社会へ巣立つ為の人間としての何かを学び、青春を輝しく謳歌するには、クラブ活動は学生たちにとって最良の場と、私は考えます。



神の働き

顧問 シスターセリーン松本

専門家でない私が、聖書のクラスを持つていることに何かこだわりのような抵抗があつて、次年度のことを決めねばならない時になると悩んでしまう。

今年もまたその時期が来た。そんなある日、外は一面の銀世界、比叡山はわた帽子をかぶって白装束をつけてしまった。霧がたちこめ煙がたなびくように動いている。折しも差し込んできた日ざしに照り映えて雪の美しい結晶がきらきら輝き、見る間に羽毛状の黒っぽい枝葉が現われはじめた。まるで散布された粉砂糖が解けるように山全体は変化し始めた。「神の働き」と思わず心の中で叫んだ。その途端、すがすがしい拭かれた気持ちになった。

心のもやもやがとれるとはこのことです。みんなと聖書を一緒に読んでいる時、私は教えているのではなく、実は学んでいるのです。みんなの心に語りかけて下さるのは、共にいて下さる神だったのです。

ノートルダム会の創立者、マザー

テレジアは不可能と思われる時にも要請に応じてシスターを派遣されました。一八五七年にはゴリチアの聾啞者の施設に送られ、シスターたちを氣遣つて現地の神父に次のように書いておられます。「何事もはじめのうちは困難が伴います。新しいこと、新しい環境に慣れるのは誰にとっても大変です。しかし、神が共にいて下されば、あらゆることは可能です。こう信じるこそ私の心の安らぎ、慰め、喜び、唯一の希望です」。

(書簡二〇五一)

思い返せば、聖書のクラスを始めたころは、分かち合いなど考えられませんでした。日常茶飯事の話はできても、自分の問題や悩み、意見交換など思うままにできなかったのです。しかし、今ではありのままを受け入れ、互いに支え祈りあえるようになり、チャレンジさえも受けられるようになってきました。これはまさに神の働きです。

確かに、共にいて下さる神に信頼する時、神は必要なめぐみを与え、あらゆることを可能にして下さいます。同窓会の皆さん、こんなこと知っている筈です。しかし、あらためてマザーの言葉として聴くと励まされるものですね。

平成五年 総会 報告

前同窓会長 高山敦子(4E和泉)

平成五年五月十六日(日)午前十一時半より午後三時迄京都宝ヶ池プリンスホテルにて同窓会総会が催されました。新学長水越先生も御出席下さり、新しいノートルダム女子大学の門出にふさわしく、一二一名の出席者によるにぎやかな同窓会となりました。

した。又この日をもって本部役員が交替し、活動内容も新鮮なものとなり待出来そうです。

エンターテインメントは十二期生が担当して下さり同期の坂下さん(12E赤木)とピーターパン企画のメンバーによる三味線語りと一人芝居を披露して頂きました。ボランティアグループのバザーやゲームも好評で半日、年も子供の勉強の事も忘れるほど楽しい一時を満喫出来ました事を、ここに報告させていただきます。

「大学祭 バザー報告」

秋晴れの十一月三日、大学祭が盛大に開催されました。色々なイベントがあり、なつかしさと時の流れを感じながら、同窓会も一室をお借りして、昨年より小さなバザーを開きました。開場前よりお客様にお待ちいただくと毎年の御好評をいただいております。同窓生の皆様方も、ぜひお誘い合わせの上お越しただけねばと思います。

売上げ金はインド、ネパールの活動へ寄付させていただきました。これも皆様方からの御寄贈のお陰と厚

くお礼申し上げます。本年度も、多くの皆様からの御寄贈を待ちしております。同窓会宛大学の方へご郵送下さい。



「関東支部で、より」

塚脇 明美 (8E小塚)

平成五年十一月二十一日に、大学より水越学長、フランス語教授の阿部先生に御来席を仰ぎ又本部からは磯野会長と辻副会長に御参加いただき、関東支部会を開催いたしました。関東一円より約七十余名が、ホテルオークラに集いました。別館十二階のレストランは、眺めも素晴らしく、美味しい仏料理に舌鼓を打ちながら、懐かしい友人先輩後輩との楽しい語らいの一時を持ちました。

京都よりわざわざ御臨席いただきました水越学長には、ノートルダム女子大学の現況、そしてこれからの在り方を、お話しいただきました。

ユーモアの中にも、先生の真摯な情熱がひしひしと伝わり、私共も卒業生であるという自負と自覚を、あらためて抱かせていただきました。私たちの在学中と変わらぬ若々しさでお話しいただきました阿部先生には、素晴らしい版画の作品を、一人一人に仏語の名前入りで頂きまして、一同大変感激いたしました。二十一世紀を前にして、政治経済とあらゆる

分野で変革の時である一九九四年という広い視野に基づいた先生方の貴重なお話を聞かせていただき、大きな刺激と、そして友人たちとの再会の喜びとを胸に抱いて別れを惜しみながら、それぞれ帰宅の途に着きました。

関東支部会において、一つのまとまったことをするということは、会員が関東一円に拡がり、気軽に集まることが地理的に難しいという難点があります。関東支部会をより有意義にするために、会員の皆様の御参加とアイディアをいただいて、より活発な活動ができることを願っております。

四月より幹事は、九期生となりますので、入会希望の方、転勤などで退会なさる方は、左記へ御連絡下さい。

支部会費は千円 (二年分)

役員 西門 裕子 (9C森田)

役員 笹田 千慈 (9C大柳)

宇治田はま (9E石原)

松平 啓子 (9E祖父江)

白神 佳子 (9E水取)

津森万起子 (9E鏡原)

「中部支部です。」

いふく！

細野 陽子 (8E関)

中部支部は二百余名の会員がいます。同窓会を含め、年二回の行事、年一回の学年委員会を持ち、各学年間の連絡、情報交換に努めています。会報「友」を年一回発行、各層の方々に投稿いただいています。昨年、十月二十九日には、愛知県美術館でリアル美術館所蔵のバロック、ロココ絵画を鑑賞しました。ルーベンス、エル・グレコ、ゴヤ等の作品に一時の芸術の秋を楽しみました。十一月二十八日、水越学長、シスターセリン、本部長、副会長をお迎えし、同窓会、総会を名古屋キャッスルホテルで行いました。新生ノートルダム女子大学の暫新な指針を学長より伺い、母校の更なる発展に大いなる期待と希望を抱きました。

本年は来たる五月十七日(火)の徳川美術館での美術鑑賞で始まる予定です。ここは尾張徳川家の重宝、つまり大名道具を一万数千件にわたって収め、展示している名古屋なら

ではの所です。春期特別企画「大名の能」も鑑賞、美しい庭園を眺めながら昼食をいただく予定です。(会費三千五百円、鑑賞料は支部負担)多くの皆様の御参加をお待ちしております。秋には十期企画の同窓会を催します。

当支部は、中部地方にもともと在住で大学で京都へ赴いた方々、結婚、転勤等を機に当地へ来られた方々、学生時代身につけた事を生かし活躍中の方、育児真っ最中の方、子育ても一段落して自己、夫婦を見つめ直し向上を目指している方と多岐にわたります。が、ノートルダムという共通の土壌のもと、どんな時も安心して集い合え、親睦を深めながら共に向上し合える場として、情報を提供したいというのが私達の願いです。

本年度支部役員 (昨年度同様)

支部長 細野 陽子 (8E 関)

副支部長 田中 晶子 (8C田中)

書記 仙田悠美子 (3E河村)

広報 大野 京子 (9E小塚)

会計 水谷 順子 (12C飯田)

皆様からのご意見、ご希望をお待ちいたしております。

マリアンハウス管理運営委員会報告

マリアンハウス開館から早や一年が過ぎました。

運営委員会は、内部の設備を整え、外構の仕上げなどをすると共に、ハウス使用に関する規則を検討して参りましたが、次のような内容を取り決めましたので皆様にお知らせいたします。これは暫定的なもので、不都合な点は改定したいと考えておりますので御意見がありましたらお聞かせ下さい。

できるだけ多くの同窓生がマリアンハウスを訪れ、利用して下さいますようお願いいたしております。

マリアンハウス使用規定

①使用できる人

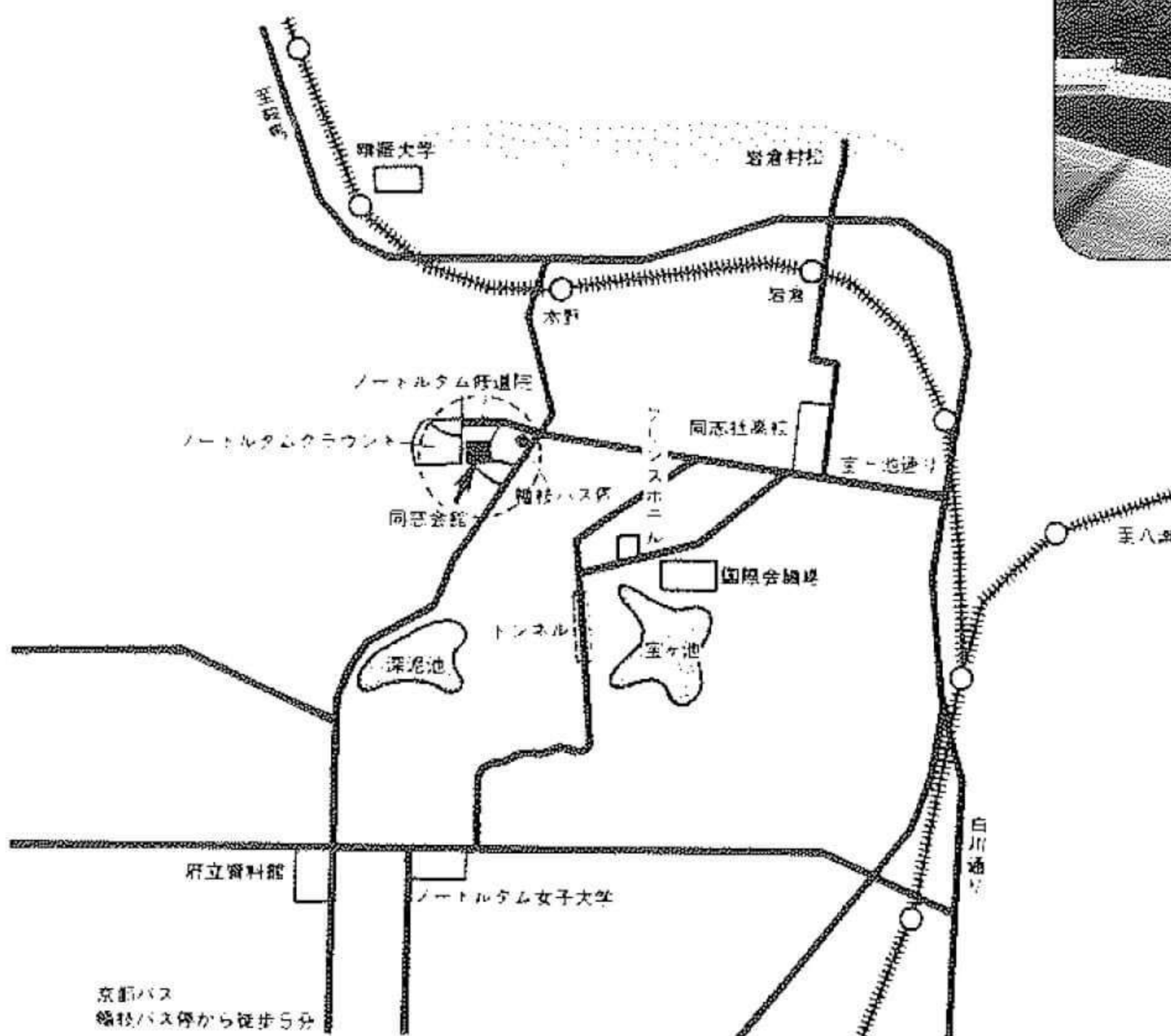
ノートルダム女子大学同窓生
ノートルダム女子大学在校生
ノートルダム女子大学教職員
ノートルダム女学院小中高の同窓会（本部として）

②使用できる日時

月、水、金の10:00am～3:00pm
但し、上記の日時以外でも相談に応じます。

③休館日

3月20日～4月10日
8月10日～8月20日
12月20日～1月10日



④使用料（冷暖房費込み、台所使用可）

10:00am～3:00pm	
2階和室8帖	1,500円
2階和室6帖	1,500円
2階洋室	1,500円
1階ホール	3,000円

⑤宿泊について（冷暖房付、台所・浴室使用可）

宿泊料 1泊1名3,500円（貸布団料込み）

収容人数 10名

チェックイン 3:00pm～5:00pm

チェックアウト 10:00amまで

⑥申し込み方法

④項、⑤項共に2週間前までにマリアンハウスに電話でお申し込み下さい。

キャンセルは5日前までにご連絡下さい。

それ以後のキャンセルは費用の50%を頂きます。

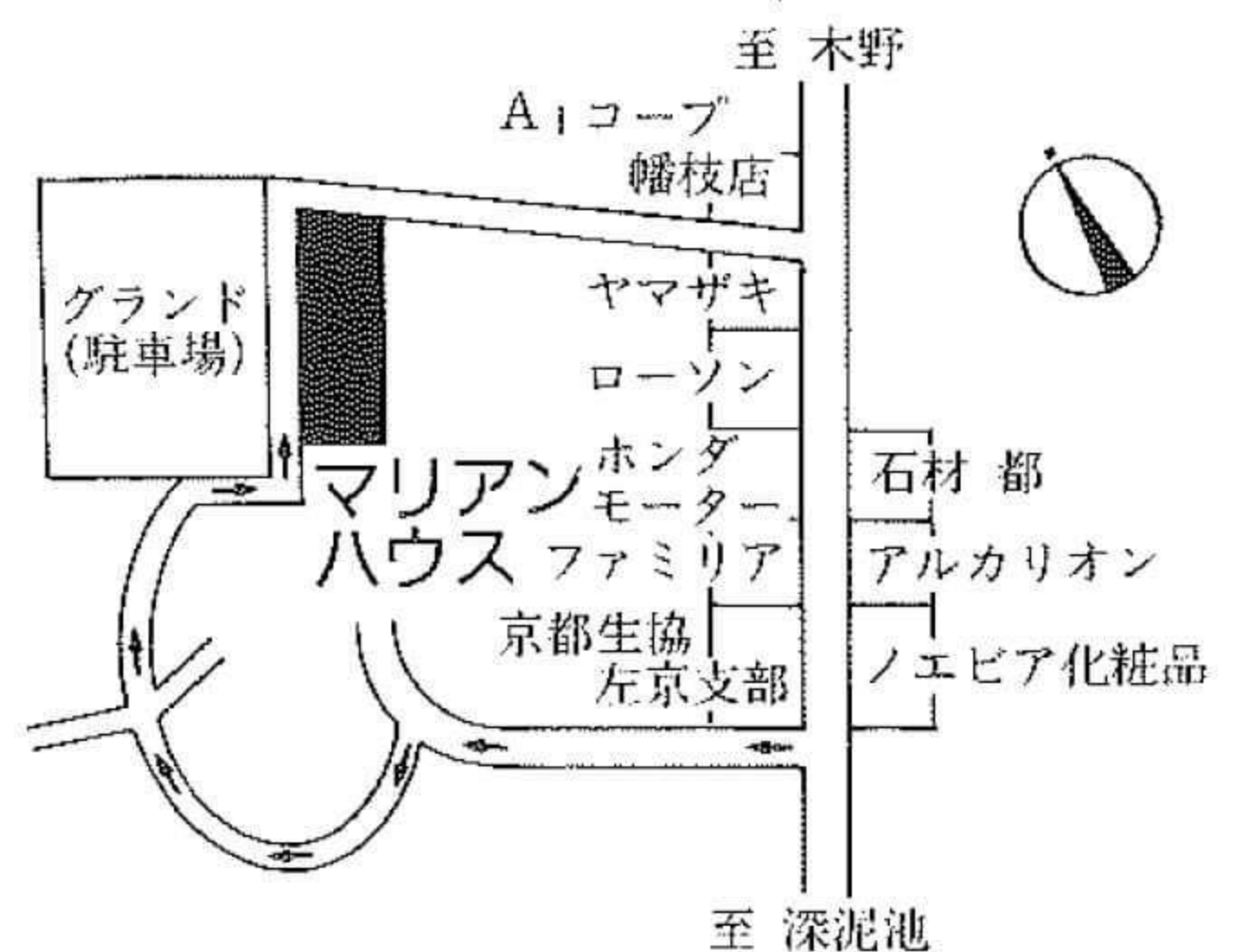
マリアンハウス

〒606 京都市左京区岩倉幡枝町628

電話番号 (075) 701-9149



付近拡大図



ボランティア活動報告

オープンハウス開催！

昨年九月十七日、マリアンハウスにおいてボランティアの企画によるオープンハウスを開催いたしました。

多くの方々にご来場いただきましたことを心より御礼申し上げます。
(同窓会本部)

昨年五月にマリアンハウスでの活動が役員の方の努力により正式にスタート致しました。ボランティアサークルは、これにともないオープンハウスを行い、より多くの人に、同窓会館を見て頂くチャンスと、考えておりました。

ちょうどその頃、本部役員、マリアンハウス運営委員の皆様のご賛同とご協力を頂き、加えて色々な形で手作り作品を作つてこられた卒業生の有志の方々が、たくさん作品をオープンハウスに展示して下さいました。

又、同窓会で運営されてきた、各種クラスである英語、聖書、書道のクラスも紹介の為の展示をして頂きました。ボランティアの手芸品の販売も行なわれ、来館された皆様に沢山お買上げ頂きました。(なおこれらのお金は、インド・ネパールの恵まれない子供達に、ボランティアサークルが続けております寄付の資金の一部として全額活用させていただきますのでご了承下さい。)一階ホールでは、全員の手作り作品展示を見ながらのケーキ、お茶のコーナーが設けられておりましたので、お

話がはずんで、まるでミニ同窓会のようでした。初めての試みにもかかわらず成功裡に終りましたこと、ひとえに皆様の御協力の賜とボランティア一同感謝致しております。

ボランティア今年度予定

今年度も例年どおり第三金曜日十時より三時まで活動致します。(ただし一月、二月、八月をのぞく)どうぞ御協力頂ける方は、御参加下さいますように。

尚今年度は、初の試みではありますが年二回同窓会員を対象に手作り作品の講習会を実施致します。

六月十七日 トピアリー

貝の口の小物入れ他

十一月十八日 お正月しめ縄飾り(現代風)

千支のカレンダー

クリスマス小物他

両日とも十時よりスタートします。お帰りの頃には、すてきな作品が出来上がることうけあいです。参加ご希望の方は、一ヶ月前までに、マリアンハウスにお葉書にて、お申込み下さい。材料費は、実費を頂きますが千円程になります。

今年も九月十六日に、オープンハウスを行います。

皆様のご来館をお待ちしています。手作り作品展示のご参加、作品のご寄付等の御協力お願い申し上げます。

英文科研究室よりお知らせ

今夏、シスターモーリーンとアメリカから4~5人のシスターをお迎えし、夏期英語集中講座が開かれます。

卒業生の皆様のご参加をお待ち致します。

日時 8/1(月)~8/5(金) 9:30~3:30まで
ただし、初日は登録のため、
9:00から

参加料 25,000円(登録料5,000円含む)

詳しい資料、受付は6/1(水)~7/1(金)までの期間、大学英文科研究室内

ともしげ 友繁博美まで

ノートルダム女子大学 Tel(075)781-1173



シスター テレサマーガレットご帰米！

——シスターより次のようなお手紙が届きました——

Dear Graduates,

It has been a whole year since I had to say "goodbye" to the graduates of 1993. And how many "goodbyes" I had to say before that! Almost thirty times as the years came and went. Yet the meaning of "Goodbye"—"God be with you"—has kept you always in my heart and in my prayers. I will continue to remember you "mata au hi made." I am always interested in Notre Dame Women's College and every bit of news about it stirs up fond memories. I know that each of you, in your own position in life, is striving to live out the ideals that you gained during your years at Notre Dame. I know that whatever I tried to teach you of womanly and Christian ideals is living on in you . . . in your children . . . in your children's children. . . . I am grateful to God that He gave me the opportunity of serving you!

There are five of us Sisters here at the Villa who share my love for you: Sister Mary Paul, who was in Japan when the College was established and helped to "break the ground" for the first building; Sister Dorine, whom many of the boarders will remember—the "Sister in the kitchen" who was responsible for your meals; Sister Mary Louise, whom the Jogakuin students will remember as Sister Richard Ann; Sister Vivienne, who taught English for seventeen years at the college. All of them join me in sending you yoroshiku.

May God continue to bless you and all your loved ones with His love and joy and peace.

Sister Teresa Margaret, SSND

シスターヴィヴィアンが次のようなお便りをつけて下さいました。

「シスターテレサマーガレットは足の手術を2回お受けになりまだ杖を使っていますが、生活には支障なく過ごしておいでです。治療を受けていらっしゃるのでもそのおかげでもあります。永年の日本での生活で会えなかった御家族とも近くなりよろこんでいらっしゃいます」

シスター テレサマーガレットの思い出

シスター メリーアン押山

祇園祭の日に、シスターテレサマーガレットがアメリカへお帰りになりましてから早八ヵ月余りの月日が過ぎ去りました。ですが、いまだに時折シスターにお会いできるような、錯覚におちいっております。

いつも甘いクッキーの香りを漂わせておられましたシスターは、非常に几帳面な方で、それは実習室の食器や道具の並べ方、器具の取扱い方などに現われていましたネ。それを常に見ておりました私はいつの間にか感化されまして、部屋の整理整頓がよくできるようになりました。卒業生の皆様の中にもそのような方がいらっしゃるのではないのでしょうか。また、シスターは真面目で何事に対しても一生懸命に取り組まれ、正確に処理なさる方でいらっしゃいました。常に、綿密な計画のもとに行動なさるシスターは私たちに緊張感を与えられましたが、それと同時にどこことなくシスターから温かさが感じられました。或る時、シスターとご一緒にパーティーの企画をしましたが、その時、あの人はこの野菜が好きだから、この人は魚が好きでないからなどと出席なさる方々の嗜好を考えてメニューを決められ、その心配りの濃やかさに驚いてしま

になさるシスターのお心が、私

のではないのでしょうか。私もシ

切にし、心和ませるような人に



いました。この一人一人を大切に温かさを与えていらしたスターのように周囲の人々を大なりたいたいと思っております。

加藤佐千子 (16C)

シスターテレサマーガレット厳しさの中には必ずはっきりとお持ちでした。子供好きでもあ

加えて私の長女も孫のように可愛いがって頂きました。又、「夫婦の愛は二人で100%で、普段は50%ずつですが相手が落ち込んでいる時はあなたの愛を80%に下さい。愛は受けるだけでなく自ら与えてこそ得るものです。」と教えて下さいました。いつも目をキラキラさせ何事にも敏感でした。病で倒れられ手足が御不自由のまま帰米なさいました事がとても残念ですがシスターの御健康と御多幸をお祈り致しております。

駐イスラエル大使夫人

内田真美子さん（IE）
母校で講演

柔和な笑顔、明るいうちに声によく似合いのピンクのスーツ。旧姓猪木さんは、在学中、米留学。J・F・ケネディ追悼の文を新聞へ寄稿等、学生時代より政治に深い関心を示され、御結婚後は、カナダ、印、英、チェコ

と、日本の外交の責務を負われ、世界放浪（御本人談）二十六年、二年前現任地イスラエルへ。

民族流転、世界激動の中心地等四千年に亘る苦難の歴史の明快な解説をうけ、人口五百万総面積は四国程の小国ながら厳しく複雑な国情故に、国民総挙の自衛精神、意外に良い治安、外来者への厚い友好の情等のお話に、誤ったイスラエル観を払

ITC英語スピーチコンテスト世界大会に参加して

高山敦子（4E和泉）

カナダのアルバータ州エドモントンで七月に開かれた英語スピーチコンテストITC（インターナショナル・トレーニング・イン・コミュニケーション）世界大会に、日本代表として参加いたしました。私が属しており

心を閉ざす聞き方から

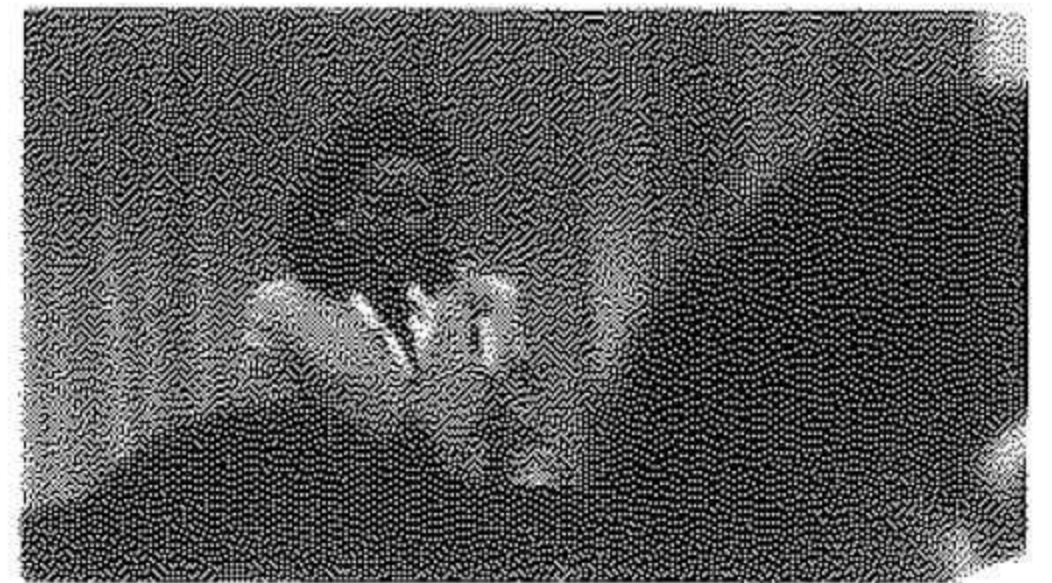
開く聞き方へ

秋田登茂子（10C森口）

「ただいま」の声に元気がないと感じた時、「元気がないね、どうしたの」「宿題を忘れて先生に怒られた」「もう、だからいつも宿題は、帰ってすぐにしなさいと言ってるでしょ」これでは子どもは、もつとつらいです

よね。そのうちに都合の悪い事は話さなくなります。

「ただいま」「お帰り、元気がないけれど、頭でも痛い」「どこも痛くないけど宿題を忘れて先生に怒られたの」「ああ、それで元気がなかったのね」「うん、夕飯の時は、覚えてたんだけど、テレビ見てたら忘れちゃった」「テレビを見てる間に忘れたのね」「そう、やっぱ



同窓生だより

拭いた。本来優秀な民族、加えて強い独立心―目覚ましい女性の自立と確立した保障で離婚も多く、御自身の二十八歳の御結婚年数は驚きに値したとか。又、イスラエル国旗と御家紋が同じだったことからのハブニング親善談等に、イスラエルは身近かな国になったものだ。

キブツ、モシャブル（農場共同体）や、ガザ地区視察、及び

各国要人との歓談時等の、大使夫人ならではの興味深いお話から、世界平和の為に、直に尽力出来る幸せを感じつつ（御本人談）、責務を立派に果されているのを伺い知り、誇りと期待を持つと共に、世界を舞台に活躍する同窓の友を、更に多く輩出出来る母校であるよう、同窓会の役割は重いと実感した。

に出場する切符を手に入れましたが、ITCに入って一年あまりですが、子供の頃から演劇をしていて、多くの観客を前にすると、うれしくて張り切ってしまう性格が、リラックスして私らしいスピーチが出来た原因だと思っています。気持の中には、一位になればノートルダム女子大学や、今住んでいる淡路島の宣伝に少しでもなるかも知れ

ないから、頑張ろう、こういう感情が私を日本一に、世界大会では、日本をアピールさせたい気持ちが上位入賞させてくれました。

り宿題は、テレビを見る前にする方が良いのかな」「テレビを見る前にした方が良いと思うの」「うん。だけど今日は、七時にどうしても見たいのがあるから今すぐやるわ」なんて展開になると親も子も楽ですよ。

（秋田さんは、親業訓練協会インストラクターでいらっしゃいます）

前者は、子どもは何も考えず、命令されて嫌な気分になり、何の進歩もない。後者は、子どもに考えさせ、自分で解決するの

第五期卒業 二十五周年の お誘い

ノートルダム女子大学を卒業して
はや二十五年、残り半分の人生をい
かに生きようかと思ひ巡らす年にな
りました。学生時代の希望にあふれ
た時を思い出し、今後の糧になるよ
うに、楽しいひとときを過ごしたい
と思います。遠方の方もぜひ御出席
お待ちしております。

日時 十月二日(日)十一時三十分
場所 京都センチュリーホテル

会費 一万円

(京都駅前)

同窓会委員

得田 従子(5E杉江)
伊吹 佳子(5E松本)
山村美佐子(5E平松)
西村 晶子(5E西村)

尚、詳しい事は、後日往復葉書に
て御連絡させて頂きます。

第十五期卒業 十五周年の お誘い

あつという間の十五年間、なんと
ノートルダム女子大学を卒業し、十
五年という月日が過ぎました。仕事
に全力投球の方、主婦業と仕事を両
立されている方、主婦専業の方、歩
んでいる道は様々ですが、懐かしい
キャンパスの近くに集いませんか。
十五期生、十五年ぶりの初めての学
年同窓会を開きたいと思います。

○平成六年六月十一日(土)

○レストラン・ドウ・シユウ

京都市北区植物園前(地下鉄

北山駅四番出口 戸田ビル2F)

○午前十一時三十分 現地集合

○会費 九千円

仕事に子育てに追われる毎日だと
は思いますが、どうぞお気軽にお友
達お誘い合せの上、御出席下さいま
す様お願い申し上げます。

尚、詳細ならびに御出欠の確認は
後程、往復葉書にてお知らせ致しま
す。

学年委員

山田 和代(15E)
溝淵 訓子(15C川田)

四期生

二十五周年を集う

十月三日大学に集合。シスターセ
リーンとシスターメリーアンが笑顔
で迎えて下さり、母校の温かさを感
じた再会。学内を案内していただい
た後中華料理店で歓談し、二次会は
四十七名全員でマリアンハウスへ。
以下は北海道をはじめ各地からの参
加者の方々からいただいた感想の一
部です。

「：とても思い出深い一日となり
ました。大学の充実した設備や、マ
リアンハウスの素晴らしいこと、驚
くことばかりでした」「：シスター
はじめ皆様にお会いでき、又お話し
をしていく内に忘れていた数々のこ
とを思い出し二十五年間離れていた
とは思えない一瞬を過ごすことがで
きました」「：長い間お目にかかっ
たことのない方々がほとんどでした
のにその空白はまたたく間に埋めら
れあの当日はダムの学生に戻ってお
りました」「：午後からあいにく雨
になりましたが、お天気の悪さを忘
れてしまう程のもり上がりで、本当
に楽しい一日を過ごさせて頂いただき

ました」

皆様ありがとうございます。
五年後お会いしましょう。

林 久美子(4E岩月)
林 いく子(4E上田)
家村 悦子(4E上登野)



おくやみ

左記の方々がお亡くなりになり
ました。御冥福を心からお祈り申
し上げます。

山崎寛子(19E)H5・4・15
川本公子(5E吉崎)H5・10・10
矢城啓子(8C鳥居)H5・10・13

—同窓会クラスアクティビティご案内—



(英会話クラスにて)

○とても楽しい、快刀乱摩を断つがごとく
ナゾ解きされてスカット気持ちよくなる
(文学講読S.T)

○もつと勉強して上手になりたい、とても
楽しい。
(英会話A.T)

クラス	講師	内 容	日時・場所	責 任 者
聖 書	シスター セリーン	日本のキリスト教文学を読む	マリアンハウス 第4月曜日13:00~15:00 5/23より開始	池淵律子(60)
		聖書の読んだ箇所の各人の感想と シスターの解説	名古屋聖心センター (地下鉄市役所前下車) 第2月曜日10:30~12:30 5/9より	加藤真理子(2F) 斉藤 晴美(40)
英文雑誌 の講読	シスター セリーン	インターセクト・タイム誌などによる 現代問題等の英文和訳と内容 についての討論(日本語で行われ ます)	マリアンハウス 第4月曜日10:30~12:00 5/23より開始	小永井宏子(4E)
文学講読	シスター モーリンプリンカー	文学作品についての講義と内容に ついての討論(英語で行われます)	マリアンハウス 10:45~12:15 第2・第4火曜日5/10より	中田記美江(7E)
書 道	寺田九緒	書道具持参	マリアンハウス 第1・第3水曜日 10:30~12:00 5/18より開始	林満智子(3E)
英 会 話	シスター アーリーンサイモン	タイトルを決めてのスピーチやフ リー・カンパセーション。能力に 関係なく楽しく勉強できます。	マリアンハウス 第1・第3月曜日 10:30~12:00 5/16より	杉江三和子(17E)
ボ ラ ン テ ィ ア		手芸品製作(売り上げ金はインド・ ネパールへ)	マリアンハウス 第3金曜日10:00~14:00 5/20より開始	辻美智子(4E)

※各クラス受講料は学期毎に500円。

※各クラスプリントのみ御希望の方には、実費にてお送りいたします。

※御質問もしくはお申し込みは各責任者まで。

※新しいクラス開設について御希望がありましたらマリアンハウスまでお寄せ下さい。

○なごやかで和気あいあいとしたムードで毎回楽しく出席しています(書道・H.T)

○ときには女性差別の話しにレディパワー爆発。
みなさんも爆発しにいらっしゃいませんか、ス
カッとしますよ(聖書R.I)

○4年が経ちました。シスター・先輩方の指導の
もとにここまでやってこれました。楽しみにし
ています。時事問題についてもシャープになり
ボケ防止にもなりますよ。(英文雑誌講読K.N)



(書道クラスにて)

「ハンド・友愛の手を」

シスター ポーラ 岩城

いつもご協力をありがとうございます。まず、「教育を通して自立を助ける」という目的を掲げて、主に子供たちが学校へ行くように援助してきましたが、その他にも識字教室や栄養指導の教室を開いたり、医療（器具や薬）、生活（井戸・手洗い・電気等）などの援助もしています。

最近援助をはじめたのは、ボンベイ市内の聖ヨゼフホームです。カトリックの修道会のシスターが世話しているホームで、主に崩壊家庭の五歳〜十七歳の子供五十人ほどが生活して近くの学校に通っています。また、このホームでは、同じ学校に通ってくるスラムの貧しい子供たちに昼食を提供したり、共働きの家庭のための保育所をしたりしています。すべて無料でしているので、相当な費用がかかります。しかし、インド政府からの援助はのぞめず、「インドへ友愛の手を」で援助することになりました。

どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。援助してくださる方、関心をお持ちの方は、はがきでノート

ルダム女子大学、シスタージーンまでご連絡ください。詳しいことをお知らせいたします。

「ネパールよりのメッセージ」

シスター アイリーン 中村(IE)

同窓生の皆様、お元気でらっしゃいますか。

私は、四年前より四人のシスターと共にネパールに住んでいます。私達の住んでいる所は、バンディプルと言って首都カトマンズよりバスで五、六時間、ドウムレという所で降り歩いて二・三時間、山のとつぺんにあります。雄大なヒマラヤ連峰を一望に眺められるすばらしい所です。排気ガスもなく空気がきれいで、夜空には星がさんさんと輝き、まるでプラネタリウムを見ているようです。山の斜面を利用した段々畑には陸稲・ひえ・とうもろこし・野菜などを作っています。又、バナナの木は沢山あります。わずかな人達はみかん畑も持っています。一九八五年、村人の要請により始められた学校（当時五十名）も今では、生徒数約四五〇名になりました。日本や他の国の方々の援助によって幼稚園から高校までの校舎ができました。今ま

での民家を借りての狭い教室より広い校舎に移り、子供達は、元気に楽しく勉強しています。又、化学室や図書室もあります。一九九〇年より電気がついていきますので、時々、ビデオを見せています。絵本や本などを見る機会の少ない子供達です。で、目をかがやかせながら真剣に見ています。幸いにもノートルダム女子大学の有志により図書室の本格的準備のための訪問が近々にあると聞いています。これからのネパールを担っていく子供達によりよい教育ができればと願っています。これからもよろしく願います。



ネパールの子供たち

キリスト教文化研究所主催

講演会「あなたの命考えていますか」

日時：1994年5月23日(月)16:30～

場所：大学本館4階ホール

講師：フィアーナ&浩一石井ご夫妻

フィアーナさんは17才の時に、水泳中の事故で下半身マヒの障害を乗り越えて二人の子供を出産し、英語教師としても活躍しています。お二人の経験談は命のすばらしさ尊さを伝えてくれるものです。

	援 助	送 り 先
イ ン ド	○定期援助（1人の子供） 1年間2万4千円（毎月2千円）	郵便振替 京都3-34889 シスタージーンシュミット
	○定期援助（寮生） 金額は上と同じですが、寮に入っている子供たちを援助するもの。	一般活動のための一時援助はいつでも、おいくらでも結構です。
ネ パ ー ル	○援助	郵便振替 京都3-59123 ノートルダム教育修道女会 ネパールサポート事務局
	○英語の絵本・図鑑・物語などのご寄贈をお願いします。	マリアンハウス
○図書室開設準備のため現地での短期お手伝いに興味のある方は大学図書館司書 岡崎さんまでお問い合わせ下さい。		

同窓会役員名簿

名 前		旧 姓		学 年 委 員	
名誉顧問	水越 治	二期	高野 淳子(藤本)	十四期	西別府満喜子(水越)
顧問	Srセリン松本	三期	川上 春子(苦名)	十五期	伊佐 敬子(吉村)
会長	磯野 高子(2E川田)	三期	小亀 峯子(杉本)	十六期	溝淵 訓子(川田)
副会長	辻 百合子(2E岩越)	三期	三由 博子(木本)	十七期	西出 和代
会 計	家村 悦子(4E上登野)	四期	大野 和子(藤山)	十七期	鈴木 民子(徳岡)
	下水木淑子(9C森橋)	四期	森田江實子(岸中)	十七期	松岡 洋子(松岡)
會計監査	西村 寛子(11E大鳥良子)	五期	西村 晶子(西村)	十八期	阪田 真琴(阪田)
書 記	垣田加代子(6E瀬川)	五期	山村美佐子(平松)	十八期	片岡 温子(吉田)
	荒瀬 忠子(4E藤野)	六期	坂井 陽子(安達)	十九期	萩原 道子(田中)
庶 務	小林 和美(10C釜倉)	六期	福原七穂子(福田)	十九期	荒井友紀子(伊藤)
	柿谷 初子(6C赤井)	七期	山岡 博子(村木)	二十期	田中 絵里(溝淵)
	小笹 依子(6C島津)	七期	渡辺美登利(岩田)	二十期	三上 美保(安達)
	枝川美千代(8E中村)	八期	西村 幸子	二十期	朝隈 純子(若山)
	岩本万知子(8E後藤)	八期	五由出千春(五由出)	二十期	浅井 成子
マリアンヌ 管理運営委員	中島 克子(1E長谷川)	九期	西野 洋子(寺田)	二十一期	柴田 宏美(谷畑)
		九期	福田 啓子(千葉)	二十一期	梶田 祥子
		十期	伊藤のりこ(吉田)	二十一期	岸本 明子
		十期	浅井 玲子(川中)	二十一期	中村 郁子(森川)
		十一期	松田 佳織(西澤)	二十二期	田中 幸子
		十一期	滝口 寿子(高橋)	二十二期	山田三起子(林)
		十二期	北沢みよこ(山田)	三十期	大藪 千穂
		十二期	中井 恭子(塚本)		
				二十三期	中島 千明
				二十四期	東野村美和
				二十四期	坂田 佳由
				二十四期	百々なおみ
				二十四期	中野 惠美(前野)
				二十五期	久世 直子
				二十五期	一色 裕美
				二十六期	富田 有香
				二十六期	杉本 奈美
				二十六期	加藤奈津子
				二十六期	小谷 展子
				二十七期	大日 喜代
				二十七期	芦田 祐里
				二十八期	高嶋佳代子
				二十八期	小林 麻里
				二十八期	中川智香子
				二十九期	山中 尉江
				二十九期	西村 和香
				二十九期	飯田早映子(戸田)
				二十九期	西浦 広子
				二十九期	葭田 奏子
				二十九期	西垣まどか
				三十期	水原 有美
				三十期	西田 直子
				三十期	阪原 万理
				三十期	内田 真理

ノートルダム女子大学同窓会会則(案)

昭和55年3月31日制定
平成6年5月22日改正

第1章 総 則

第1条 本会は、ノートルダム女子大学同窓会と称する。

第2条 本会の本部を京都市左京区下鴨南野々神町1番地ノートルダム女子大学に置く。

第3条 本会は、役員会の承認を得て支部を置くことができる。

第4条 本会の会員は、ノートルダム女子大学卒業生とする。ただし、大学中退者で入会を希望する者は、役員会の承認を得て会員とすることができる。

第5条 会費は終身会費制とし、会員は大学卒業時(大学中退者会員は入会時)に納入するものとする。

第2章 目的及び事業

第1条 本会は、会員相互の知徳の向上と親睦

を図り、母校の発展に貢献することを目的とする。

第2条 本会は、前項の目的達成のため、次の事業を行う。

- 1 総会の開催
- 2 会報、名簿、その他印刷物の発行及び配布
- 3 奨学金の貸与
- 4 その他必要な活動

第3章 役員等

第1条 本会は、総会の承認を得て名誉顧問及び顧問を置くことができる。

第2条 名誉顧問は、ノートルダム女子大学長に委嘱する。

第3条 顧問は、名誉顧問並びに役員が推挙した者に委嘱する。

第4条 名誉顧問及び顧問は、重要会務に関し

て助言する。

第5条 本会に次の本部役員を置く。

- | | |
|----------------------------|-----|
| 1 会 長 | 1 名 |
| 2 副会長 | 2 名 |
| 3 書 記 | 2 名 |
| 4 庶 務 | 4 名 |
| 5 会 計 | 2 名 |
| 6 会計監査 | 1 名 |
| 7 マリアンハウス
管理運営委員会
代表 | 1 名 |

第6条 本部役員は、本大学卒業会員の中から選出し、総会の承認を得て就任するものとする。

第7条 会長は、会員の推挙した者の中から、役員会において選出する。

第8条 副会長、書記、庶務、会計、会計監査、マリアンハウス管理運営委員会代表は、会長が指名する。

第9条 本部役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

第10条 本部役員に欠員を生じた場合は、補充することができる。ただし、任期は前

任者の残余期間とする。

第11条 役員の任務は、次のとおりとする。

- 1 会長は、本会を代表し会務を統括する。
- 2 副会長は、会長を補佐し必要に応じ会長の職務を代行する。
- 3 書記は、総会及び役員会等の議事を記録し保存する。
- 4 庶務は、企画、広報を担当し並びに学年委員との連絡に当る。
- 5 会計は、基金保管及び会費徴収等を担当し総会で会計報告を行なう。
- 6 会計監査は、経理事項を監査し総会に報告する。
- 7 マリアンハウス管理運営委員会代表は、当該委員会を代表する。

第4章 総会及び役員会

第1条 総会は、毎年1回5月に会長が召集し開催する。

第2条 総会においては、予算及び決算並びに会務の主要事項等を報告し、承認を得

なければならない。

第3条 役員会は、本部役員及び顧問で組織する。

第4条 役員会は、必要に応じて会長が召集して開催し、本会の運営に係わる諸問題を協議する。

第5条 総会及び役員会における承認事項の議決は、別に定めのある場合を除き多数決によるものとする。

第5章 会則の改正

第1条 本会則の改正は、役員会の了承を得て総会に諮り、会員の3分の2以上の同意を得なければならない。

第6章 雑 則

第1条 本会の運営に必要あるときは、役員会で細目を定めることができる。

第2条 支部及びマリアンハウス管理運営委員会に関する事項は、別に定める。

附 則

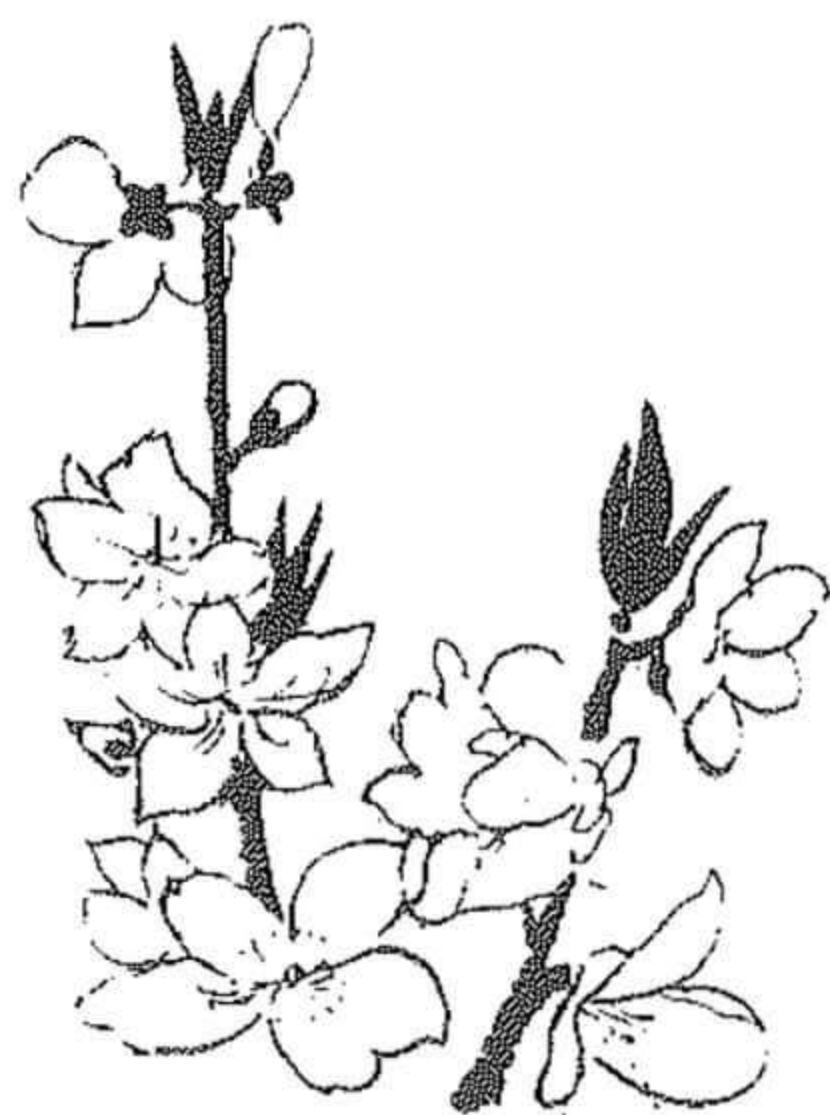
この会則は、平成6年5月22日から施行する。

お 願 い

○ 学長先生の記事でお読みの通り、七月に「ユニソン会館」が完成いたします。同窓会ではステージ幕と塔屋の屋上に設置する二個のカリオンベルを寄贈したいと考えております。詳細は次号で御報告いたします。

○ 今まで昭和五十五年作成の会則を使ってまいりましたが、運用面でかなり変化しておりますので、このたび会則を改正することになりました。現役員会で改正案を作り、歴代の会長の御意見もいただき、前記のものが出来上りました。

以上の二点について総会にて決議いたします。御承認をお願いいたします。



平成四年度 会計報告

自…平成4年4月1日
至…平成5年3月31日

支出の部			収入の部	
科目	予算額	決算額	科目	決算額
総会費用	600,000	580,285	前年度繰越金	50,205,230
マリアンスカラシップ	870,000	458,540	終身会費	6,910,000
卒業記念品費	350,000	276,228	資産運用益	1,080,021
通信費	600,000	651,603	スカラシップ返済金	120,000
印刷費	1,300,000	972,425	名簿代金	2,880
中部支部活動費	150,000	150,000	雑収入	181,000
関東支部活動費	150,000	150,000	(マリアンハウスお祝金	
文具消耗品費	30,000	35,731	ND30年史販売代金	
交通費	150,000	46,881	プレート販売代金な	
クラスアクティビティ	300,000	170,000	ど)	
慶弔費	200,000	70,000		
会議費	300,000	322,761		
同窓会館設立費用	23,440,000	26,000,000		
雑費	150,000	143,889		
30周年記念協力費	700,000	700,000		
同窓会館運営費	500,000	707,101		
次年度繰越金		27,063,687		
合 計		58,499,131	合 計	58,499,131

平成五年度 活動報告

- 五月
 - 各種文化教養クラス春期開始(四月より)
 - 総会
 - 支部会との役員会開催
 - ボランティア活動開始
 - 管理運営委員会活動開始
- 六月
 - ユニソン会館起工式出席
 - 学年委員懇親会
- 七月
 - Sr.テレサ・マーガレット送別会
- 九月
 - 各種文化教養クラス秋期開始
 - マリアンハウスオープン
- 十一月
 - 大学祭バザー参加
 - 関東支部会出席
 - 中部支部会
- 十二月
 - 「マリアン」原稿依頼
 - Xマスパーティー(クラスアクティヴィティ)
- 一月
 - 各種文化教養クラス冬期開始
 - 名簿整理
- 二月
 - 「マリアン」二十四号編集開始

編集後記

- 三月
 - 新入会員への説明会
 - 平成五年度会計報告書作成
 - 会則改正会議(歴代会長)
 - 第三十回卒業式参列
 - 四月
 - 平成六年度入学式参列
 - 平成六年度予算案作成
 - 「マリアン」二十四号等発送
 - 総会準備
- ※今年度のマリアンスカラシップの該当者はありませんでした。

今年度もマリアン二十四号を皆様のお手元にお届けすることが出来、ほっとしております。大学より多大なご協力をいただき、感謝致しております。大きく変わろうとしている大学の様子を皆様に少しでもお伝え出来たのではと思っております。原稿をお寄せ下さいました皆様方に改めて心から御礼申し上げます。

表題はSr.セリオンをお願いいたしました。